

令和4年度 大阪市立八阪中学校 教育の方向性

教育目標；人権尊重の精神を基盤とし知・徳・体の

調和のとれた教育を実践し

①希望を持ち、たくましく生きる

②自主的に学び、自律的に行動する

③感謝の心を大切に、自他を尊重する

生徒を育成する

重点目標；「豊かな心」「確かな学力」「健やかな身体」の育成

校 訓；希望・学び・感謝

1 安全・安心な教育の推進

自分の可能性を追求できるように、静穏かつ明るい教育環境の中で、生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友だちと交流しながら、健全に成長できる学校生活を保障する。

- ①全教職員が情報を共有し、連携を密にし、組織的な体制で指導する。
- ②全教職員の協力により、生徒・保護者・地域から「信頼される学校」を構築する。
- ③将来にわたっての基本となるルールの大切さを指導する。
- ④部活動については、活動方針に則り、お互いに励ましあい・高め合う集団を育成する。
- ⑤不登校生徒の状況を的確に把握し、より丁寧な取り組みと組織的な体制で指導する。
- ⑥学校行事等を有効に活用し、生徒に自己有用感や達成感、充実感を感じさせる。
- ⑦PTAや地域と連携し、教職員や生徒が地域行事に参加するように促し、地域社会の一員であるという自覚を持たせる。

2 未来を切り拓く学力・体力の向上

将来、社会で生きていくために必要となる基礎的な知識や学力・体力を習得することをめざす。基礎学力、論理的思考能力を習得し、さまざまな情報をもとに自分の頭で考え、自己の判断と責任のもとに、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となる人間を育む。

- ①教員が指導力を向上させ、「50分間集中した授業」を展開する。
- ②一人一台パソコンを有効活用し、通常授業ができないときや、登校しにくい生徒にも対応できるように取り組みを進める。
- ③習熟度別少人数授業や個に応じた少人数授業を計画的に展開し、基礎基本の徹底を図る。
- ④学校図書館を活用するために、学校司書と連携し、読書活動の充実を図る。
- ⑤生涯にわたり、健康を保持増進することができるよう、基礎体力を向上させる。
- ⑥スポーツに親しむ機会の確保に向け、区役所等と連携した取り組みを推進する。
- ⑦地域の協力を得て、職業講話、職場体験学習を実施し、キャリア教育を推進する。

3 学びを支える教育環境の充実

学校教育は、社会の変化に素早く、そして柔軟に対応することが求められている。授業をはじめとする学びや生活の中でICTを活用する。

加えて、学習指導のほか、生徒指導や部活動、保護者や地域との連携など学校や教員に対する期待も多様化している。そんな中、教員の働き方改革は喫緊の課題である。

さらに、学校の創意工夫を支援するため、様々な連携を進め、教職員の資質向上をはじめ「学校力アップ」に取り組む。

- ①ICT機器を活用し、生徒が意欲的・主体的に取り組める授業を展開する。
- ②学習教材データ配信等を有効に活用し、計画的な家庭学習を促し、自主学習習慣の定着を図る。
- ③学校ホームページの充実を図り、学校行事・部活動等の様々な学校の様子を発信する。
- ④学びの場にふさわしい、学校の環境整備を進める。
- ⑤業務の見直しを行い、教員の働き方改革に取り組む。